

【第 133 回対策本部会議】 5 月 12 日

健康福祉部長／直近 1 週間の感染者数は、7 日が 495 人と多かった。それ以外は、200～300 人台。年代別では、9 日から 20 代の感染者が少し増えている。

これまで、大型連休や年末年始、お盆後は感染者が増加する傾向があったが、現時点では落ち着いている。

ゴールデンウィーク中は、医療機関が休診していたため、5 月 9 日から今日までの 4 日間を 2 週間前の同じ曜日で比較してみると、感染者数は減少していた。ただ、学校等が再開したため、その影響を注視していく。

入院者は 127 人、病床利用率 22.6%、うち中等症者は 45 人、中等症者用病床利用率 8.0%、重症者はいない。ホテル療養者 201 人、ホテル利用率 32.7%。自宅療養者は 2,305 人。

感染者は若い世代が多く、高齢者は少ない。重症化リスクが高い人へ感染が広がらないよう取り組む。

南里副知事／感染者全体の状況は、どうなっているのか。

健康福祉部長／感染者全体に占める 20 代以下の割合が約 5～6 割、40 代以下だと約 8～9 割、高齢者は 1 割未満に抑えられている。

坂本副知事／デルタ株やアルファ株では、ゴールデンウィーク後に感染が拡大した。オミクロン株は、ゴールデンウィークの影響が少ないのか。

健康福祉部長／オミクロン株は、感染後 1～2 日で症状が出る。週末に感染した場合、陽性が確認されるのは火曜日くらい。10 日火曜日の感染者数は 357 人、前々週の 583 人に比べると減っている。11 日、12 日も前々週より減っているので、ゴールデンウィークの影響は少ないと考えている。

知事／感染者数は、緩やかな減少傾向が続いている。病床利用率、中等症の病床利用率、ともに低めに推移している。

直近の感染者は、20代以下が5割以上、入院率は約1%。一方、70代以上の感染者数は全体の1割以下だが、入院率は3~4割と高い。この傾向は変わっていない。

引き続き、重点的に高齢者施設への対策をとる。

コロナウイルスは、オミクロン株になって弱毒化している。今後、ウイルスがどう変異するのか。BA.2やほかの変異株も含め、分析を行っていく。

コロナ対応も長くなり、改めて医療従事者の皆さんに感謝申し上げます。さまざまな現場、県民の皆さんの感染症対策への取り組みに感謝申し上げます。誹謗中傷などは決して行わないように。

今後とも、医療、介護、保健所、市町の皆さんと共に、対策に取り組んでいきたい。